

ザンビアにおける感染症対策塗料普及事業が JICA 民間技術普及促進事業として採択

関西ペイント株式会社（本社：大阪市、石野 博社長）が提案したザンビア共和国における感染症対策塗料（防蚊塗料、抗ウイルス塗料）の普及促進事業が、独立行政法人国際協力機構（JICA）が進める「開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業」として、以下の通り採択されましたので、お知らせいたします。

< 感染症対策塗料普及事業の概要 >

- 事業内容： 感染症対策塗料の普及を通じて、マラリアやその他の感染症予防の推進を図る
同時に普及のための効果検証や許認可活動、商品PR等を行い、事業体制を構築する
- 事業期間： 2017年4月～2019年3月（2年間）
- 事業地域： ザンビア共和国 ルサカ州
- 実施体制： 当社サーベイトームが同国の医療、保健、自治体等の関係機関に協力を仰ぎながら効果検証を行い、現地子会社（Kansai Plascon Zambia 社およびその関係会社）と連携し、普及推進を行う。

当社は、南アフリカ共和国に主に建築用塗料の事業を展開する子会社を有し、同国のほか、ザンビアを含む南部アフリカ各国にも工場を持ち、アフリカ市場でトップシェアを有しております。また、アフリカ市場は、今後、量的拡大が期待されるだけでなく、同時に、暮らしの豊かさや安心な環境づくりなどの質的な発展が期待される市場と認識しております。

今回普及促進事業を行うザンビアでは、年間で約600万人がマラリアに感染し、3千人以上が命を落としており（2014年）、特に5歳未満の幼児、妊婦へ甚大な被害を及ぼすなど、深刻な社会的問題となっています。このマラリアは、蚊が媒介となり感染が拡大し、大きな被害を及ぼしています。

また、同国では多種の感染症が蔓延している状況にあります。

こういった問題に対し、当社グループの製品である防蚊塗料（ANTI-MOSQUITO）は、建物の内壁に塗装することで、壁に接触した蚊の吸血能力を大幅に抑制する機能を有し、蚊を媒介とするマラリアの感染拡大防止効果が期待されています。

また、抗ウイルス塗料（SHIQUY）は、同じく建物の内壁に塗装することで、接触してほぼ全てのウイルスを不活性化する機能を有し、医療、保健衛生施設、一般家庭などの居住空間の衛生環境を向上させ、感染症の予防に大きな期待が寄せられています。

加えて、それぞれの塗料は、その機能を有すシートやタペストリー化することも可能であり、特に塗装作業が困難な病院施設などで機能効果が期待されます。

すなわち、これらの塗料および関連製品は、上述の感染症拡大防止、予防にその効果が期待され、当社は、これらを幅広く普及させることにより、ザンビアのみなさまの暮らしの豊かさや安心な環境づくりに貢献したいと考えます。

<本事業で普及する当社グループの製品>

防蚊塗料 (ANTI-MOSQUITO)	抗ウイルス塗料 (SHIQUY)	抗菌・防蚊タペストリー・シート
		

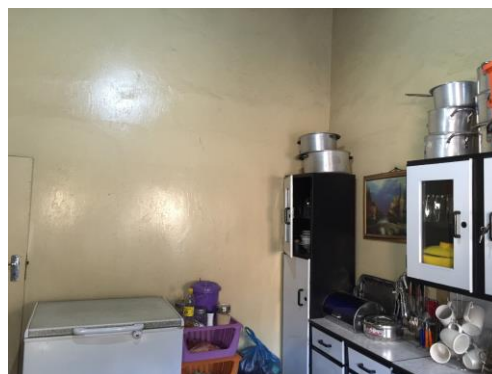
今回の普及事業では、まず、これら2つの塗料およびシート、タペストリーを集合住宅や公共施設、病院施設などに施工および設置し、効果検証のためのサーベイテストを実施します。

合わせて、その効果検証結果をもとに、ザンビアでの販売・流通のための許認可取得活動を進め、各製品の有用性が一般の方々に幅広く認知されるための仕組みづくりとPR活動を実施します。

並行して、技術移転と現地製造化を図り、必要とする方々へ幅広く、素早く行き渡るビジネス体制の構築と展開計画の策定を行い、ザンビアはもちろん、近隣諸国も含めた水平展開を推進します。



ザンビアの一般家庭の塗装状況の調査風景



ザンビアの一般家庭の室内の様子

これらの製品は、マラリアだけでなく、蚊を媒介として感染拡大するデング熱や各種感染症の拡大防止、予防に寄与すると期待され、アフリカだけでなく、グローバル規模での普及に努め、世界全体の暮らしの豊かさや安心な環境づくりに貢献していきたいと考えます。

以上

本件に関するお問い合わせ先

関西ペイント株式会社 執行役員 国際本部 副本部長 赤木 雄

電話 06-6203-6530 ファックス 06-6203-2293